

一般競争入札を行いますので、京都市上下水道局契約規程第7条の規定に基づき、次のとおり公告します。

平成20年11月4日

京都市公営企業管理者

上下水道局長 西村 京三

1 一般競争入札に付する事項

(1) 委託業務件名

鳥羽水環境保全センター 実施設計委託（その54）

(2) 委託業務概要

ア 撤去詳細設計

- | | |
|-----------|----|
| (ア) 最初沈殿池 | 一式 |
| (イ) 反応タンク | 一式 |
| (ウ) 最終沈殿池 | 一式 |

イ 改築詳細設計

- | | |
|-----------|----|
| (ア) 導水渠 | 一式 |
| (イ) 最初沈殿池 | 一式 |
| (ウ) 反応タンク | 一式 |
| (エ) 最終沈殿池 | 一式 |

(3) 履行期間

契約の日から平成21年3月13日まで

(4) 履行場所

京都市南区上鳥羽塔ノ森 地内

2 参加資格に関する事項

この公告に係る競争入札に参加できる者は、次に掲げる条件をすべて満たす者とします。

- (1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しないこと。
- (2) 一般競争入札に参加する者に必要な資格を有すること。
- (3) 一般競争入札参加資格確認申請書の提出期限の日から落札決定の日までの期間に、京都市上下水道局競争入札等取扱要綱第27条第1項の規定に基づく競争入札の参加停止の期間が含まれていないこと。
- (4) 建設コンサルタント登録規程（建設省告示第717号）に基づく「下水道部門」及び「施行計画、施工設備及び積算部門」の登録を受け、京都市上下水道局の平成20年度の競争入札有資格者名簿に「建設コンサルタント」の種目で登録されていること。
- (5) 技術士法施行規則に規定する技術部門のうち、「上下水道部門」の選択科目における「下水道」の技術士資格者又は「下水道部門」のシビルコンサルティングマネージャ（以下「RCCM」といいます。）の資格を有する者を管理技術者及び照査技術者として配置できること。ただし、管理技術者と照査技術者は同一の者であってはなりません。

なお、配置予定の技術者は、常勤の自社社員であり、かつ、入札参加の申出日において引き続き3箇月以上の雇用関係があることとし、実際に配置する技術者の変更については、相当の理由があるものとして当局の承認を受けた場合を除き、認めないものとします。

- (6) 平成5年度以降に、国内において下水道法第2条第6項に規定する終末処理場において、1日の処理能力が25,000立方メートル以上の能力を有する処理施設の改築、再構築事業及び下水道法施行令第5条の6第1項第4号の表の各区分に掲げる方法にあるステップ流入式多段消化脱窒法又は前記方法と同程度以上

(高度処理オキシデーションディッチ法は除く)の高度処理施設の実施設計業務を元請として履行した実績があること。

(7) 関係会社の参加制限

本件入札に参加しようとする者が、次の各号のいずれかの関係に該当する場合は、そのうちの一者しか参加できません。

ア 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社（会社法第2条第3号及び会社法施行規則第3条の規定による子会社をいいます。以下同じ。）、子会社の一方が会社更生法第2条第7項に規定する更生会社（以下「更生会社」といいます。）又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合は除きます。

(7) 親会社（会社法第2条第4号及び会社法施行規則第3条の規定による親会社をいいます。以下同じ。）と子会社の関係にある場合

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

イ 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(7)については、会社の一方が更生会社又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合は除きます。

(7) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

(イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の会社更生法第67条第1項又は民事再生法第64条第2項の規定により選任された管財人を現に兼ねている場合

ウ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

前各号と同視し得る資本関係又は人的関係にあると認められる場合

3 一般競争入札参加資格確認申請書等の交付

(1) 問い合わせ先

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12番地

京都市上下水道局本庁舎1階

京都市上下水道局総務部用度課

(電話 075-672-7728)

ホームページのアドレス <http://www.city.kyoto.jp/suido/yodo.htm>

(2) 交付期間

この公告の日から平成20年11月7日(金)午後5時まで

(3) 交付方法

(1)の上下水道局ホームページに掲載しますので、ダウンロードして使用してください。

4 入札方式及び競争入札の参加資格の確認手続等

(1) 入札方式

ア 本件入札は、京都市電子入札システムにより行います。

なお、入札参加希望者が電子入札により難いやむを得ない理由がある場合は、事前に管理者(上下水道局長)(以下同じ。)の承諾を受けることにより、紙による入札(以下「紙入札方式」といいます。)を認めることとし、別に定める方法により入札の手続を行います。

イ 電子入札コアシステムに対応している認証局が発行したICカード(本市に提出済みの「使用印鑑届」と同一名義人のもの又は受任者がいる場合には受任者名義のもので、かつ、落札決定日の日時までの間において有効であるものに限ります。)を取得したうえで、京都市電子入札システムへの利用者登録を行っている者が、インターネットを利用して入札データを送信します(紙入札方式により入札に参加する者は、上下水道局総務部用度課(以下「用度課」と

いいます。)に入札書を持参することとします。)

(2) 参加資格の確認の申請

入札に参加しようとする者は、次に掲げる書類（以下「申請書類」といいます。）を添付のうえ、京都市電子入札システムへ送信し（紙入札方式により入札に参加する者は、用度課に持参すること。）、入札参加資格について審査を受けることとします。

ア 一般競争入札参加資格確認申請書

イ 上記2(4)、2(5)及び2(6)に掲げる条件に関する書類等

(3) 申請書類の提出期間

この公告の日から平成20年11月7日（金）までの午前9時から午後5時まで（ただし、紙入札方式の申請の受付は、正午から午後1時までの時間帯を除きます。）

(4) 参加資格の確認の通知及び委託設計図書の貸与について

申請書類の受領後、競争入札の参加資格の確認を行い、平成20年11月13日（木）に、確認結果を電子メールで送信しますので、京都市電子入札システムにより確認してください（紙入札方式により入札する者には、電話により確認結果を通知します。）。)

なお、入札参加資格を有すると確認した旨通知があった者は、設計図書を上記3(1)の場所で貸与しますので、資格確認通知後、速やかに交付を受けること。

(5) 参加資格がないと認めた者に対する理由の説明

ア 参加資格がないと認められた者は、管理者に対し、書面により競争入札の参加資格がないと認めた理由の説明を求めることができます。

なお、当該書面は、平成20年11月17日（月）までに、上記3(1)の場所に提出することとします。

イ 管理者はアによる説明を求められたときは、平成20年11月19日（水）までに説明を求めた者に対し、書面により回答します。

(6) 参加資格の確認の取消し

参加資格があると認めた者が次の各号のいずれかに該当することになったときは、管理者は(4)による通知を取り消し、改めてその旨を通知します。

ア 参加資格があると認めた者が、入札日時までに、京都市上下水道局契約規程第3条に規定する一般競争入札参加者の資格を喪失したとき。

イ アに掲げるもののほか、この入札に参加する者に必要な資格を欠くこととなったとき。

ウ その他管理者が特に入札に参加させることが不相当であると認めたとき。

5 入札期間及び開札日時

(1) 入札期間

平成20年11月26日（水）、27日（木）及び28日（金）の午前9時から午後5時まで。ただし、紙入札方式により入札書を持参する者は正午から午後1時までを除きます。

(2) 開札日時

平成20年12月1日（月）午前9時から開札し、落札者を決定します。

なお、落札者に対しては、落札結果を電子入札システムにより確認するよう電子メールを送信します（紙入札方式の申請者には、電話により落札結果を通知します。）。

(3) 入札の執行結果の公表

入札の執行結果は、決定後、上記3(1)の場所で閲覧に供し、併せて上下水道局ホームページにおいて公表します。

(4) 入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者である

かを問わず、消費税及び地方消費税を含まない金額を入札することとします。

6 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とします。

7 入札の無効

京都市上下水道局契約規程第12条各号（第3号を除きます。）に定めるもののほか、虚偽の申請により参加資格があると認められた者が行った入札は、無効とします。

8 その他

- (1) この調達は、政府調達に関する協定の適用を受けるものではありません。
- (2) この手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とします。
- (3) 入札保証金 免除
- (4) 契約保証金 免除
- (5) 契約書作成の要否 要

(上下水道局総務部用度課)